

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年11月21日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	森本美希
レジメン名	トラスツズマブ【2回目】+ mFOLFOX6 (胃がん)		
疾患名	胃がん	適応の備考	CVポート
適応分類	進行再発		
1コース日数	21	日間	総コース数
抗がん剤投与量・投与日		トラスツズマブ6mg/kg day1、オキサリプラチン85mg/m <sup>2</sup> day8、5-FU400mg/m <sup>2</sup> day8、5-FU2400mg/m <sup>2</sup> day8(46時間持続)	

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)					(day)																				
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食250mL	1	本 / body	30分	●																			
	中心静脈注射	トラスツズマブ	6	mg / kg		●																			
	注射	注射用水20mL	1	本 / body		●																			
投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可																									
2	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5分	●																			
	中心静脈注射																								
3	主ルート	生食20mL	1	本 / body								●													
	中心静脈注射											●													
4	主ルート	グラニセロン注ハック 1mg/50mL	1	本 / body	30分							●													
	中心静脈注射	デキサート注射液 6.6mg/2ml	1	本 / body								●													
	注射	デキサート注射液 1.65mg/0.5mL	2	本 / body								●													
5	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1	本 / body	2時間							●													
	中心静脈注射	オキサリプラチン	85	mg / m <sup>2</sup>								●													
Rp5とRp6を同時に投与開始する。																									
6	側管	5%ブドウ糖液250mL	1	本 / body	2時間							●													
	中心静脈注射	レボホリチート	200	mg / m <sup>2</sup>								●													
Rp5とRp6を同時に投与開始する。																									
7	側管	生食50mL	1	本 / body	5分							●													
	中心静脈注射	5-FU	400	mg / m <sup>2</sup>								●													
8	主ルート	生食100mL	1	本 / body	46時間							●													
	中心静脈注射	5-FU	2400	mg / m <sup>2</sup>								●													
	注射	インフューザーポンプ使用 希釈後の液量を総量100mLとなるよう調製する																							
9	経口投与	デカドロン錠	8	mg / body									●	●	●										
	分2 朝食後																								

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

このレジメンは、トラスツズマブ2回目投与患者に使用する  
トラスツズマブの投与量は、初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg  
トラスツズマブ:初回投与時間は90分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。  
トラスツズマブ:次回以降予定投与が遅れた場合、前回投与日から1週間以内の時は、6mg/kgを投与する。1週間を超えた時は、改めて8mg/kgを投与し、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与。  
トラスツズマブの投与間隔は3週毎、mFOLFOX6の投与間隔は2週毎に投与。  
Rp5とRp6を同時に投与開始する。  
day11のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる  
day8のデキサート注は、6.6mgでもよい  
デキサメタゾンを積極的に使用できない場合は、デキサメタゾンday9~11の代わりに5HT3拮抗薬day9~11を追加する  
オキサリプラチン:希釈は5%ブドウ糖液のみ。  
穿刺時に逆血を確認し、ポートの通過を確認すること  
Rp8) 5-FU注は、インフューザーポンプを使用して投与する。